

報告事項

令和 8 年度事業計画

I 公益目的事業 [1]

(1) 研究発表会事業

- 1) 2026 年春季低温工学・超電導学会研究発表会
(通算第 111 回)

- ・会期：2026 年 6 月 2 ～4 日
- ・会場：横浜市開港記念会館（神奈川県横浜市）
- ・併設展示会を開催する。

- 2) 2026 年秋季低温工学・超電導学会研究発表会
(通算第 112 回)

- ・会期：2026 年 12 月 8～10 日
- ・会場：コラッセふくしま（福島県福島市）
- ・併設展示会を開催する。

- 3) 調査研究会として、次の 5 テーマを実施する。

- ・核融合技術を含む超伝導分野での液体水素利用に関する調査研究会（2025～2026 年度）（継続）
- ・原子力・放射線分野における磁場・超電導機器の応用可能性に関する調査研究会（2025～2027 年度）（継続）
- ・多様な磁場発生手法とその応用に関する調査研究会（2025～2027 年度）（継続）
- ・小型核融合用 REBCO 導体とマグネットの実用化に関する調査研究会（第 2 期）（2026～2028 年度）（新規）
- ・高温超伝導バルク体の特性向上と応用に関する調査研究会（2026～2028 年度）（新規）

(2) 学会誌出版事業

- 1) 第 61 巻 3 号～62 巻 2 号の 6 冊を発行する。
- 2) 特集テーマとして以下の内容で企画することを検討している。

「超伝導技術の産業応用の現状と課題」

「液化水素大規模利用の基盤としての材料評価技術及び周辺技術」

「コイル設計者のための REBCO 線材諸特性」

また、材料、デバイス、冷却、機器関連などについても検討を進める。

- 3) 学会誌電子書籍化に関する検討を行う。

(3) 国際交流事業

- 1) 国際交流奨励賞：若手研究者の国際交流支援を目的に 褒賞選考委員会に協力する。

2) 第 8 回アジア超電導スクールを IEEE Council on Superconductivity (CSC), The European Society for Applied Superconductivity (ESAS) との協力によって実施する。

3) 本学会の主催による開催が決まった The 12th Asian Conference on Applied Superconductivity and Cryogenics / 4th Asian International Cryogenic Materials Conference (12th ACASC/4th Asian-ICMC) の準備を引き続き進める。

4) IEEE Council on Superconductivity (CSC) Administrative Committee (AdCom) への出席・協働事業実施報告を行う。

5) The European Society for Applied Superconductivity (ESAS) 理事会への出席・協働事業実施報告を行う。

6) Superconductivity Global Alliance (ScGA) 活動に協力する。

7) The Korean Society of Superconductivity and Cryogenics (KSSC) との MOU 締結について、引き続き調整を進める。

(4) 広報・広告関連事業

- 1) 社会に対する広告活動としてホームページにて各種イベント開催案内を行うとともに、賛助会員企業紹介ページの拡充を行う。
- 2) 学会員、企業会員への広報活動として内部広報を実施する。
- 3) 学会 HP および学会誌等での電子媒体広告について検討する。

(5) ホームページ事業

- 1) ホームページの維持・管理を継続する。
- 2) ホームページのより広範な活用を進める。

(6) 教育・セミナー事業

- 1) 春季研究発表会に併せて市民公開講座を開催する。

(7) 環境・安全関係事業

- 1) 合同 WG を含む委員会活動を実施する。
- 2) 関連情報の入手のための安全工学シンポジウム共催。
- 3) 安全と信頼性アンケート WG の結果報告（HP 又は学会誌）、委員会単独推進可能項目（安全テキスト改訂等）の実施、および次期展開検討（再アンケート含む）。
- 4) 昨年度 web 公開安全テキストの改訂。

(8) 研究会事業

- 1) 材料研究会として、シンポジウムを計 4 回開催する。そのうちの 1 回は九州・西日本支部と合同で開催する。
- 2) 超電導応用研究会として、シンポジウムを 4 回開催する。

(9) 関西支部事業

- 1) 関西支部総会を 5 月に開催する。
- 2) 関西支部講演会を 5 月、10 月、1 月に計 3 回開催する。
- 3) 低温工学基礎技術講習会を 9 月に開催する。
- 4) 低温工学・超伝導若手合同講演会を 11 月に開催する。
- 5) 役員会を 4 回開催する。
- 6) 関西支部事業会員向け報告書を作成する。

(10) 東北・北海道支部事業

- 1) 東北・北海道支部総会を 4 月に開催する。
- 2) 東北・北海道支部研究会を 8 月頃に開催する。
- 3) 学生研究交流会を 11 月頃に開催する。
- 4) 市民公開講演会を 11 月頃に開催する。
- 5) 九州・西日本支部との交流事業として講師を派遣する。
- 6) 役員会を年 3 回開催する。

(11) 九州・西日本支部事業

- 1) 九州・西日本支部総会・企業セミナーを 4 月に開催する。
- 2) 若手セミナーおよび支部成果発表会を 1 回開催する。
- 3) 材料研究会と合同で支部研究会を 1 回開催する。
- 4) 研究会・外国人著名研究者の特別講演会を 1 回開催する。
- 5) 超電導・低温技術レポートをまとめる。
- 6) 役員会を 4 回開催する。
- 7) 支部長賞及び支部奨励賞を授与する。

(12) 冷凍部会事業

- 1) 冷凍技術等に関する講演会、見学会等を年間6回程度実施する。海外で開催された学会の中から最新技術動向等の報告会も含める。
 - 2) 例会事業、低温技術講習等の事業に関する実行計画、及び次年度実施事業計画等を策定し、実施する。
 - 3) 前年度の講演会を取り纏めた年間講演集を発行し、会員に配布する。
 - 4) 冷却・冷凍・超電導に関する装置を製作し、その原理等を易しく説明する低温技術講習会を実施する。講習会対象者を学会員以外にも広げ、低温工学・超電導工学の啓発を図る。
- (1 3) 基盤強化事業
- 1) 財政基盤強化策を企画・実施する。
 - 2) 研究発表会併設展示会出展者との懇談会を開催する。春季および秋季研究発表会において賛助会員特別招待券を運用する。
 - 3) 賛助会員向けサービスとして製作した学会誌・研究発表会概要集のUSB在庫を有効活用する。
 - 4) 低温工学・超電導学会研究発表会において特別セッションを企画・実施する。
 - 5) 若手の会を企画・運営する。
 - 6) デモ機コンテスト等を企画・実施する
- (1 4) 運営委員会開催 4回開催

II 公益目的事業 [2]

(1) 褒賞事業

1) 令和8年度褒賞

・論文賞 (学術)

受賞者：高畑一也 (核融合科学研究所)

受賞対象論文：「液体窒素中における水平面上の遷移沸騰熱伝達」低温工学 第60巻1号13-20頁

・論文賞 (学術)

受賞者：寺尾悠 (京都大学)、淵野修一郎 (東京大学)、大屋正義 (関西学院大学)

受賞対象論文：「サブマージドポンプへの適用を目指した着磁方向の異なるリング状永久磁石及び積層超電導体を用いたφ140mmの超電導磁気軸受の特性比較」低温工学 第60巻6号243-248頁

・解説論文賞

受賞者：江原悠太、筒井裕士 (住友重機械工業(株))

受賞対象論文：「陽子線治療向け超電導加速器の技術動向」低温工学 第60巻3号60-67頁

・奨励賞

受賞者：小野寺優太 (核融合科学研究所)

受賞者：宇都達郎 (東芝エネルギーシステムズ(株))

・業績賞 (学術業績)

応募者なし

・業績賞 (工業技術業績)

受賞者：仲村高志 (理化学研究所)、伊藤佳孝、柳陽介 ((株) アイシン)、内海博明 (日本電子(株))

・功績賞 (学術・技術功績)

受賞者：栗山透 (東芝エネルギーシステムズ(株))

・功績賞 (学会活動功績)

応募者なし

・優良発表賞

受賞者：

田村怜於 (東北大学) 「REBCO テープ線材のインジウム箔を用いたラップジョイントにおける接合抵抗の接合前プロセスおよび保管温度に対する依存性評価」

佐々滉太 (九州大学) 「水平配列 REBCO 超伝導線材の交流損失特性」

于澄 (東京大学) 「円筒型積層コーテッドコンダクターにおける強磁場捕捉」

箱石裕人 (岩手大学) 「一方向熔融成長法による Ag 添加 YBCO 超伝導体バルク作製におけるバッファペレットの効果」

錦織敏志 (岡山大学) 「伝導冷却下における極細超伝導線材の臨界電流と交流損失測定」

佐藤光一 (東北大学) 「REBCO 線材内部層間抵抗の界面ごとの個別測定とその妥当性評価」

佐野優太 (青山学院大学) 「REBCO 線材間超伝導接合における線材表面処理」

西岡 颯太郎 (新潟大学) 「高感度核磁気共鳴測定のための低ノイズシステムの開発」

黒川直樹 (東芝(株)) 「(Ho_{1-x}Er_x)Sb 合金の比熱混合による4K-GM冷凍機の冷凍能力向上」

野尻将太 (青山学院大学) 「新規微粒子B原料を用いたB-rich前駆体法MgB₂バルクの作製」

・国際交流奨励賞

受賞者：世良 真也 (九州大学)

・科学技術インパクト賞

受賞者：(株)西島製作所・(国)京都大学共同研究チーム 三浦知仁、野間口慧、鳥田豪 ((株)西島製作所)、中村 武恒 (京都大学)

受賞題目：遠心型液化水素サブマージドポンプ

・科学技術インパクト賞

受賞者：モビリティ向け軽量、小型、大出力超電導モータ開発チーム 三浦知仁、野間口慧、鳥田豪 ((株)西島製作所)、中村 武恒 (京都大学)

受賞題目：モビリティ向け軽量、小型、大出力超電導モータの開発

2) 令和8年度フェロー顕彰

・上岡泰晴 ((同) コールドテック)

・沼澤健則 (物質・材料研究機構)

・春山 富義 (東京大学)

・松本 要 氏 (名古屋大学)

III. 法人関連事業

(1) 社員総会・理事会等に関する事項

1) 第16回社員総会

・日時：2026年6月3日

・場所：横浜市開港記念会館

・議案：令和7年度事業報告、決算報告、役員選任、その他

・報告：令和8年度事業計画および予算計画

2) 理事会開催 定例4回

(2) 共催、協賛及び後援のシンポジウム・講演会等

1) 低温工学・超電導学会主催「第111回低温工学・超電導学会研究発表会」2026年6月2日～4日 (於：横浜市開港記念会館) 協賛：応用物理学会、電気学会、日本物理学会、日本機械学会、日本表面真空学会、日本冷凍空調学会

- 2) 日本伝熱学会主催「第 63 回日本伝熱シンポジウム」
協賛 2026 年 5 月 26 日～28 日（於：札幌コンベン
ションセンター）
- 3) 日本表面真空学会主催「第 61 回真空技術基礎講習
会」協賛 2026 年 5 月 26 日～29 日（於：大阪産業技
術研究所）
- 4) 日本機械学会 動力エネルギーシステム部門主催「第
30 回動力・エネルギー技術シンポジウム」 協賛 2026
年 6 月 4 日～5 日（於：シャトレーズホテル談露館）
- 5) プラズマ・核融合学会主催「第 16 回核融合エネ
ルギー連合講演会」協賛 2026 年 7 月 23 日～24 日（於：
北海道大学）
- 6) 日本混相学会主催「混相流シンポジウム 2026」協賛
2026 年 8 月 31 日～9 月 2 日（於：筑波大学）
- 7) 日本表面真空学会主催
「第 63 回（2026 年度）夏季大会」協賛 2026 年 9 月 2 日
～2026 年 9 月 5 日（於：八王子市生涯学習センター）
「第 7 回オンライン真空講習会入門講座」協賛 2026 年 7
月 2 日～2026 年 12 月 18 日（オンライン）
「第 7 回オンライン真空講習会」協賛 2026 年 9 月 8 日～
2026 年 12 月 18 日（オンライン）
「第 6 回オンライン真空応用技術講座」協賛 2026 年 9 月
8 日～2026 年 12 月 18 日（オンライン）
- 8) 東北大学流体科学研究所 ICFD 実行委員会主催
「Twenty-third International Conference on Flow
Dynamics（第 23 回流動ダイナミクスに関する国際会
議）」協賛 2026 年 11 月 9 日～12 日（於：仙台国際セ
ンター）
- 9) 国際超電導シンポジウム（ISS）実行委員会主催 「第
39 回国際超電導シンポジウム（ISS2026）」後援 2026
年 12 月 1 日～3 日（於：富山国際会議場）